

平成31(令和元)年度 学校経営シラバス

市立函館高等学校

<b>【校訓】</b> <b>【校歌】</b>	「何を求める」 「夢ここにあり」
めざす学校像 (3本の柱)	本校の教育活動全般で育成する10の資質・能力 「市函ディプロマ・ポリシー」(「市函DP」)
○進学重視型単位制高校 ○人間性を育てる伝統を継承・発展 ○郷土の歴史を受け継ぎ、未来を拓く学校	○基礎力 ○思考力 ○主体的学習力 ○傾聴力 ○自己理解・自己管理能力 ○他者理解力 ○計画実行力 ○発信・表現力 ○ストレスコントロール力 ○実践力
「市函プライド」をもって、世界に目を向け、これからの時代を生き抜くことのできる生徒を育成する。」	

職対象	中期目標	今年度の目標	目標達成のための評価の観点
教育活動	学習指導	○「主体的、対話的で深い学び」の視点からの授業改善による思考力・判断力・表現力等の育成  ○「総合的な探究の時間」、「函館学」の充実	○指導方法・発問方法・評価方法の工夫・改善は進んだか ○シラバスの効果的な活用と公開授業や生徒による授業評価を通じた授業改善は進んだか ○各種テスト等の結果分析を有効活用したか ○「総合的な探究の時間」や「函館学」における探究的な内容を円滑に実施・評価し、改善の方策を立てたか
	生徒指導	○望ましい生活習慣の確立と豊かな人間性の育成  ○教育相談の充実 ○自主性、協調性の育成 ○人権尊重意識の啓蒙  ○規範意識の醸成、いじめの未然防止と適切な対応	○S・Cとの連携やピアサポート活動の充実は進んだか ○自己有用感、自己肯定感を味わう各種行事の工夫や生徒会活動の充実は図られたか ○人権尊重意識の啓蒙を図るとともに、18歳選挙権への対応等は円滑に行われたか ○交通安全指導(自転車指導)の充実やネットトラブル等の未然防止は十分に行われたか ○小さなサインを見逃さないよう、面談週間を有効活用できたか
	キャリア教育	○自己理解を深め、主体的に自らの力で進路を切り拓く能力の育成  ○キャリア発達を促す教育活動を充実させる ○進路実現のための組織的・継続的な支援 ○ガイダンス機能の充実  ○地域や関係機関との密な連携	○キャリア教育の視点を踏まえた進路指導に係るノウハウの継承と充実は進んだか ○模擬試験等の分析とその結果を踏まえた講習体制を構築できたか ○生徒・保護者への適切な進路情報等の提供による進路意識の高揚は図られたか ○外部人材等を有効に活用できたか
	健康・安全指導	○健康で豊かな高校生活を営むための健康・安全指導の充実  ○生命尊重と安全意識の高揚  ○望ましい学習環境づくりと健康の保持・増進	○適切な教育相談体制、個別対応が図られたか ○健康調査・診断等を通じた健康状態の的確な把握と健康相談活動がなされたか ○校舎、校地内の環境整備や美化活動、ゴミ分別・リサイクル活動は適切に行われたか

学校経営	信頼される学校づくり	○教育の成果を保護者・地域等と共有できる学校づくり ○学校評価等を活用した不断の改善 ○安心・安全な学校環境の整備  ○コミュニティ・スクールの取組の推進 ○不祥事防止	○保護者懇談や学校HP、各種便り等の充実による学校理解の推進 ○学校評価の内容の充実と適切な実施 ○危機管理意識の高揚  ○学校運営協議会の活性化 ○服務規律の保持	○保護者懇談やHP等が有効に活用され、情報発信が充実し、学校理解を深化できたか  ○学校評価の充実とマネジメントサイクルの適切な運用がなされたか ○正常な教育活動を阻害する危機の未然防止が図られるとともに、生徒の安全を最優先した施設・設備の補修等は進んだか ○地域との協働による取組が進み、教育活動の充実が図られたか ○新聞報道等を活用した日常的な意識啓発がなされたか
	組織運営	○協働体制の確立  ○活力ある教育活動を行うための教職員の業務改善の取組	○学校課題の明確化と教職員による共有 ○函館市教委「教職員の業務改善のための取組」や道教委のアクションプランに基づいた業務の改善	○部長主任会議、各種委員会等の活性化と課題を明確にした個別面談ができたか ○学校閉庁日、変形労働時間制等の対応が適切に行われたか ○持続可能な部活動の指導(適切な練習時間、休養日の設定等)が行われたか
	教職員の資質向上	○専門性の向上  ○適格性の向上	○研修及び授業改善等の一層の充実  ○メンタルヘルス  ○服務規律や危機管理に対する意識の向上	○研究・研修事業 ○教員免許更新 ○人事評価の活用 ○高大接続改革の研究 ○ストレスチェックの活用による職場環境の整備を行ったか ○使命感・倫理観の日常的な啓発と服務規律の保持について啓発できたか